

国際政治

118

米中関係史

日本国際政治学会編

米中関係史を考える	宇佐美 滋
W・W・ウィロビーと戦間期米中関係	篠原 初枝
建国前夜の米中関係	青山 瑠妙
冷戦初期アメリカの中国政策における台湾	湯浅 成大
米華相互防衛条約の締結と「二つの中国」問題	袁 克勤
台湾海峡危機 [1954-55] と米華相互防衛条約の締結	松本 はる香
現代米中関係の変容	滝田 賢治
日米中関係における「台湾問題」	伊藤 剛
米中繊維摩擦の構図	中達 啓示
難航した米中原子力平和利用協定	宇佐美 滋
<hr/>	
原爆外交、一九四五年	西岡 達裕
<hr/>	
<書評>	
編集代表 原暉之 『講座スラブの世界』	上垣 彰
天児慧編著 『中国は脅威か』	三船(石川) 恵美
パーシー・クラドック 小須田秀幸訳 『中国との格闘——あるイギリス外交官の回想』	中居 良文
マーティン・メイリア著 白須英子訳 『ソヴィエトの悲劇 ——ロシアにおける社会主義の歴史 1917~1991』	永綱 憲悟
木畑洋一著 『帝国のたそがれ——冷戦下のイギリスとアジア』	
佐々木雄太著 『イギリス帝国とスエズ戦争 ——植民地主義・ナショナリズム・冷戦』	力久 昌幸
時任英人著 『明治期の犬養毅』	黒沢 文貴
中野裕二著 『フランス国家とマイノリティ』	
畑山敏夫著 『フランス極右の展開』	渡邊 啓貴

1998年5月刊